

## ■しおかぜ近況報告

ここ1ヶ月位の間、季節は確実に秋へと変化しているようです。これまで良好に聴取出来ていた「しおかぜ」の伝搬ですが、若干のノイズ、フェーディングが多くなって来ています。もちろん北朝鮮当局からの妨害電波の影響もありますが、日本国内からは聴取しにくいとの報告が入っています。同時に韓国ソウルのモニターに於いても、以前より季節変動の影響が見受けられますが、妨害電波を含めてもまだ十分に聴取可能と判断していい範囲です。今後9月から10月へと進むにつれて、伝搬状況も徐々に悪い方へ変化して行きます。その影響で妨害電波の効果も逆に上がってしまう事も予想されますので、ソウルなどの近隣地域でのモニターを重視し、その他各地域から寄せられる受信報告も参考にして、「猫の目作戦」も取り入れながら、出来るだけ聴取しやすい状態を保つよう努力して行きたいと考える次第です。

## <青木英二目黒区長収録>

8月29日、東京都目黒区長で青木英二氏のメッセージ収録が目黒区内の中目黒スクエアにて行われました。今回は地元で活動する熱心な支援者の皆さんからの出演依頼をご快諾いただき、実現することとなりました。東京23区では初めてとなる区長の収録となります。知事も含めた首長全体では10人目の収録です。以下メッセージの一部です。

「私自身、3人の息子を持つ親として拉致被害に遭われたみなさんやご家族の心労、そして無念の思いが痛いほど実感でき、とても他人事ではすまされない想いです」

「私は、目黒区長として、拉致問題の現実を、区民1人1人が、他人事ではなく自分の問題として、関心を持てるよう、機会を捉えてお知らせする努力をしていきます。多くの区民が拉致問題に強い関心を持ち、皆さんのことを忘れないことが問題解決のための大きな力になると信じているからです」

今後も各地方自治体の首長の皆様には出演要請をして、日本全体が拉致問題に対して、怒り、起ち上がっている事を、放送して参りたいと考える次第です。今後も、皆様のご協力、よろしくお願い申し上げます。

## <コミュニティーFMとの連携>

過去に於いて各地域のコミュニティーFMから拉致問題、短波放送「しおかぜ」についての取材等があり、9月3日、「FMいずも」からも、地域の拉致問題解決に関わる集会の告知と短波放送「しおかぜ」についての紹介が行われました。全国では400以上のもコミュニティーFM局があり、地域に根ざすメディアとして、草の根的は活動の一環として、今後も短波放送「しおかぜ」について、取り上げていただく呼びかけをして参りたいと考える次第です。

## <北朝鮮向け中波放送について>

これまで日本国内からの発信が実現不可能とされていた、中波による対北朝鮮向け放送ですが、この度、政権交代が行われ、新たな政権の下で、中波放送の実現に向けての再びアプローチをしたいと考えております。

事実上現在も日本で放送されてる中波（AM）放送の電波は北朝鮮内でも聴取されています。朝鮮中央通信、平壤放送など北朝鮮国内で放送されている中波放送から考えれば、実数は把握しきれてはおりませんが、中波ラジオはかなりの数出回っていることは確実です。そういったメディアを使い、対北放送を行う効果は、これまでの短波放送以上に大きくなる事は間違いありません。国内法の問題、送信施設問題、クリアしなければならない事は多くあるでしょうが、調査会に無線局の免許が交付されたのも、当時の安倍政権下、政治の決断があったからこそ可能になったことは言うまでもありません。新政権の下、拉致問題解決への取り組みの一つとして、是非とも対北中波放送の実現を可能にさせていただきたいと切に願う次第です。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★9月19日（土）10:00「人権教育講演会」（小浜市主催）

●小浜市働く婦人の家（小浜市大手町4-1Tel0770-52-7002）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：小浜市総務課拉致被害者・家族支援室（0770-53-0742）

★9月26日（土）13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」（東アジアネットワーク主催）

●大和会館（米子市東福原6-12-4Tel0859-34-6688）

●代表荒木・常務理事妹原が参加

●問い合わせ：長崎さん（090-7376-7803）

★9月29日（火）18:30「勉強会」（日本会議柏崎支部・ブルーリボン柏崎主催）

●柏崎エネルギーホール（柏崎市駅前2-2-30 0257-23-3138）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：植松和彦ブルーリボン柏崎代表  
([k.nipponkaigi@gmail.com](mailto:k.nipponkaigi@gmail.com))

★10月12日（月）13時「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）

●横浜情報文化センター情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口0分JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分）

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ：救う会神奈川090（9816）2187又は  
[sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

★12月8日（火）「北朝鮮人権週間講演会」（八尾市主催）

●八尾市文化会館（近鉄八尾駅前 Tel072-924-5111）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：八尾市人権文化ふれあい部人権政策課（072-924-3830）

★平成22年1月16日（土）「北朝鮮人権問題啓発講演会」（福岡市主催）

●福岡市中央市民センター（福岡市中央区赤坂2-5-8）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：福岡市人権企画課（092-711-4338）



呼びかけ人（50音順）  
荒木和博（特定失踪者問題調査会代表）  
小沼堅司（専修大学教授）  
加藤博（北朝鮮難民救援基金理事長兼事務局長）  
川島高峰（明治大学准教授）  
宋允復（NO FENCE事務局長）  
三浦小太郎（北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会代表）

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★9月3日（木）18:30「拉致を理由に追加制裁を！ 9月3日緊急国民集会」（家族会・救う会・拉致議連主催）

●星陵会館（千代田区永田町2-16-2 Tel 03-3581-5650）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：救う会全国協議会（03-3946-5780）

★9月19日（土）10:00「人権教育講演会」（小浜市主催）

●小浜市働く婦人の家（小浜市大手町4-1Tel0770-52-7002）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：小浜市総務課拉致被害者・家族支援室（0770-53-0742）

★9月26日（土）13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」（東アジアネットワーク主催）

●大和会館（米子市東福原6-12-4Tel0859-34-6688）

●代表荒木・常務理事妹原が参加

●問い合わせ：長崎さん（090-7376-7803）

★9月29日（火）18:30「勉強会」（日本会議柏崎支部・ブルーリボン柏崎主催）

●柏崎エネルギーホール（柏崎市駅前2-2-30 0257-23-3138）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：植松和彦ブルーリボン柏崎代表  
([k.nipponkaigi@gmail.com](mailto:k.nipponkaigi@gmail.com))

★10月12日（月）13時「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）

●横浜情報文化センター情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口0分JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分）

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ：救う会神奈川090(9816)2187又は  
[sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

★12月8日（火）「北朝鮮人権週間講演会」（八尾市主催）

●八尾市文化会館（近鉄八尾駅前 Tel072-924-5111）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：八尾市人権文化ふれあい部人権政策課（072-924-3830）

★平成22年1月16日（土）「北朝鮮人権問題啓発講演会」（福岡市主催）

●福岡市中央市民センター（福岡市中央区赤坂2-5-8）



して甚だしい人権問題を抱え、かつ核やミサイルの開発によって我が国や周辺国を恫喝してます。幻想に支配された安易な対話路線に走れば拉致被害者の救出が遠のくばかりか、日本の安全保障上危機的な状況を招来しかねません。逆に、金正日体制への強い姿勢をもって北朝鮮人権問題の解決のために日本が先頭に立つよう、国政の舵取りをお願いします。

2、拉致問題の解決にあたってはこれまでの政府の「帰国を求める」という姿勢から、民主党マニフェストにある「拉致問題はわが国に対する主権侵害かつ重大な人権侵害であり、国の責任において解決に全力を尽くす」へと明確に転換し、特に次の2点の実現をお願いします。

(1) 拉致は北朝鮮からの工作員だけでは絶対にできません。したがって現在も拉致に関わった多数の秘密組織及び日本人協力者を含む個人が国内に存在し、工作活動を続けていることは明らかです。これを徹底的に摘発し、工作活動の根を絶ってください。

(2) これまで政府が明らかにしてこなかった情報を新政権において可能な限り公開して下さい。とりわけ「飯倉公館事件」「DNAデータ偽造疑惑事件」等については政権交代を機に調査を行い、その結果を公開してください。また、これまで刑事告発等を行っている特定失踪者について家族に捜査の進捗状況等を明らかにし、その他の特定失踪者についても積極的な情報開示を行ってください。

3、拉致問題の究明、情報の集積は現在の警察中心の態勢では不可能です。各種情報機関の長所を活かした取り組みを進めて下さい。とりわけこの問題が現在も続く安全保障上の脅威であるという認識から情報の収集、邦人保護などのために自衛隊に任務を付与して下さい。

平成21年9月2日  
特定失踪者問題調査会代表 荒木和博

---

(北朝鮮難民救援基金の提言書)

2009/09/02  
民主党代表 鳩山由紀夫 殿

提 言 書

日本人拉致被害者、脱北者の救援、深刻な人権侵害問題解決の前進のために

このたびの総選挙における勝利に対し心よりお慶び申し上げます。またこれまで拉致問題、脱北者

問題、北朝鮮の人権侵害問題に積極的に取り組んでくださったことにお礼申し上げます。

北朝鮮難民救援基金は、これまでの建設的な関係をさらに発展させる立場にいささかの変わりもありません。

しかしながら、北東アジアの状況は、複雑な展開を見せています。北朝鮮の平壤宣言に違反する度重なる行為、ミサイルの発射実験、核実験、国連決議違反で国際的な孤立が明らかになるや、2人のアメリカ人ジャーナリストの解放、開城工業団地で拘束した韓国人を解放、また拿捕した韓国人漁民の釈放など、強硬姿勢から一転、和解ムードの攻勢を強めています。

その背景には、ミサイルに乗せる核弾頭の小型化のためには、北朝鮮がまだ時間が必要であるとの認識に基づいています。また国是としての全土要塞化の戦略的な思考によるものと思われる。

和解攻勢の一方で日本人の拉致被害者は、取り残されたままになっていることから、拉致被害者の家族のなかから焦りの声が出ています。今後、北朝鮮側は、「この焦り」を利用して、日本側の譲歩を狙ってさまざまな攻勢をかけてくることが予想されます。

そこで、日本の対応ですが、これまでのように対応が拉致問題、脱北者問題、北朝鮮人権問題を個別ばらばらに対応するのでは効果は上がりません。政府の対応も拉致問題だけを特化して予算措置を講じている現状では効果的な解決法とは言えません。

拉致問題を含む北朝鮮の人権問題を解決するためには、実効ある対策が必要です。日朝の外交交渉を実りあるものにするには政府機関の決意と同時に、NGOの活力も利用する総合戦力の検討が必要です。

北朝鮮難民救援基金は、拉致問題、脱北者問題、北朝鮮による深刻な人権侵害問題を解決するために以下のことを提案します。

2P 議員立法で成立した「北朝鮮人権法」を効果的に運用するために拉致問題、北朝鮮の深刻な人権侵害問題を扱う統一した部署を作ること。現段階では、内閣府のもとで別個の部署があつかり、無駄が多く期待する効果が上げられない。

2 これまでも問題解決のために予算を措置しているが、予算の執行が拉致問題のキャンペーンだけにほとんどの予算を使っている。宣伝物や宣伝は大手広告代理店に丸投げしている。これでは実効ある使い方とは言えず、問題解決のために仕事をしているアライバイワークとしか映らない。予算は、宣伝教育、情報収集、調査活動、救援、定住支援など費目単位に予算を立て、透明性を図る必要がある。宣伝教育、情報収集、調査、救援などの経験あるNGOにも予算を割り当てる。

2R 予算の執行に当たっては、これまで政府機関が行ってきたような広告代

理店に丸投げするよう  
なやり方をやめ、それぞれのNGOに作成を任せ、政府と協議する体制を作る  
などの新しいやり方が必  
要である。

4 脱北者からの情報収集するために、従来日本政府がとっている日本から  
北朝鮮に渡った人から数  
えて3代目までの人たちに限定して受け入れる方針では、効果的な情報収集  
はできない。脱北者が日  
本に入国することを希望すれば、人道的立場から保護して日本に入国させる  
ことはもちろんのこと、  
それなりの待遇をするのが肝要である

5 入国時の健康診断の実施

6 日本への入国時の人定調査、インタビュー機関を設置し、政府の情報の  
共有化を図る。

7 定住支援施設の開設、日本語教育、能力に応じた就労支援、就学支援、  
大学、大学院へなどの進  
学枠の整備、奨学制度の拡充を求める。

〒113-0024

東京都文京区西片2-2-8 A-101

特定非営利活動法人北朝鮮難民救援基金

理事長 加藤 博

-----  
(守る会の要望書)  
民主党代表 鳩山由紀夫様

総選挙における勝利と新政権の誕生をお慶び申し上げます。私たちは、1  
994年に結成され、北  
朝鮮の人権問題、脱北者の救援と保護、日本における定着支援などに取り組  
んでまいりました市民団  
体「北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会」です。私たちは新政権が、北朝鮮  
の人権改善にさらに強く  
取り組み、『友愛』の美しい理念を、金正日独裁体制の抑圧に苦しむ拉致被  
害者、帰国者、日本人配  
偶者、脱北者、そして全ての北朝鮮民衆の人権改善のために向けてくださ  
ることを期待しております  
。その上で、現実政策の問題として、以下の3点をぜひとも実現くださるよ  
うお願い申し上げます。

1、今年2009年は北朝鮮帰国事業が始まってから50周年となります。  
鳩山代表の祖父鳩山一郎  
氏も、その当時は帰国事業を人道的見地から支持しておられましたが、結果  
は、9万3千人の帰国者  
、日本人配偶者は、「北朝鮮は地上の楽園」という偽宣伝に騙され、人権抑  
圧と飢餓の国で呻吟する  
こととなったのです。

そして、帰国者、日本人配偶者とその家族のうち、約200名は命をかけて脱北し、ここ日本に再び戻ってきておりますが、高齢の帰国者、日本人配偶者の多くは、今も尚自由を奪われ、飢餓と抑圧に苦しんでおります。

人道的見地、並びに日本国籍者への救援と保護の見地から、帰国者、日本人配偶者の安否確認と、希望する方々の自由往来、日本への帰国の実現をぜひとも北朝鮮政府に要請してください。

2、日本入国を果たした脱北者たちに対する、日本語教育、社会教育、住居の確保、職業訓練などは、ほとんどNGOに委ねられているのが現状であり、様々な困難な事例が見られております。かつてのインドシナ難民受け入れ時などの施設や法制度を活用し、早急に公的予算による脱北者の定着支援体制を確立してください。これは人道的措置に留まらず、施設内での緻密な脱北者からの情報収集は、北朝鮮の貴重な一次情報を入手することにもつながるはずです。

3、北朝鮮に置ける人権抑圧体制の象徴は政治犯収容所です。この終章所には、帰国者、日本人配偶者もまた無実の罪で収容され、乏しい食料や苛酷な労働、また暴力などで死に追いやられています。新政権は人権外交の精神から、この収容所に対する国際的な人権査察団の派遣を提唱し、また北朝鮮政府に人権改善を求めてください。

2009年9月2日  
北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会 代表 三浦小太郎  
守る会ホームページ； <http://hrnk.trycomp.net/index.php>

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★9月3日（木）18:30「拉致を理由に追加制裁を！ 9月3日緊急国民集会」（家族会・救う会・拉致議連主催）

●星陵会館（千代田区永田町2-16-2 Tel 03-3581-5650）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：救う会全国協議会（03-3946-5780）

★9月19日（土）10:00「人権教育講演会」（小浜市主催）

●小浜市働く婦人の家（小浜市大手町4-1Tel0770-52-7002）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：小浜市総務課拉致被害者・家族支援室（0770-53-0742）

★9月26日（土）13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」（東アジアネットワーク主催）

●大和会館（米子市東福原6-12-4Tel0859-34-6688）

●代表荒木・常務理事妹原が参加

●問い合わせ：長崎さん（090-7376-7803）



本日の定例記者会見は予定通り行いますが、参加者等内容に追加がありますのでお知らせ致します。

日程 9月2日水曜 14:00～

場所 調査会事務所3F

内容

総選挙の結果と今後の活動について（民主党への要請等）  
北朝鮮人権問題国際キャンペーンについて  
しおかぜ近況報告（青木英二目黒区長の収録・コミュニティFMとの連携）  
その他

参加者（調査会以外）

加藤博・北朝鮮難民救援基金理事長兼事務局長  
三浦小太郎・北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会代表  
川島高峰・明治大学准教授（予定）

※通常と同様（株）NetLiveのご厚意でインターネットでの中継を行います。遠方等でごらんになれない場合はそちらをご覧ください。

<http://www.netlive.ne.jp/>

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★9月19日（土）10:00「人権教育講演会」（小浜市主催）

●小浜市働く婦人の家（小浜市大手町4-1Tel0770-52-7002）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：小浜市総務課拉致被害者・家族支援室（0770-53-0742）

★9月26日（土）13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」（東アジアネットワーク主催）

●大和会館（米子市東福原6-12-4Tel0859-34-6688）

●代表荒木・常務理事妹原が参加

●問い合わせ：長崎さん（090-7376-7803）

★9月29日（火）18:30「勉強会」（日本会議柏崎支部・ブルーリボン柏崎主催）

●柏崎エネルギーホール（柏崎市駅前2-2-30 0257-23-3138）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：植松和彦ブルーリボン柏崎代表  
([k.nipponkaigi@gmail.com](mailto:k.nipponkaigi@gmail.com))

★10月12日（月）13時「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）

●横浜情報文化センター情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口0分JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分）

●副代表真鍋が参加

